

水 紋

第2号



特定非営利活動法人
会津阿賀川流域ネットワーク
平成22年11月発行

水紋2号は、当会の今年の事業活動と各団体の活動等について画像を交えて紹介します。



【雪化粧した磐梯山：11月4日撮影】

【掲載記事一覧】

1. 住民参加による水質調査事業
2. アドベンチャークラブ支援事業
3. イトヨ保全活動支援事業
4. 会津めだか塾支援事業
5. 各団体の活動紹介及び阿賀川流域での出来事紹介
 - (1)秋なのに桜咲く
 - (2)湯川の灯籠流し
 - (3)第4回マス釣り大会
 - (4)喜多方東町のびやか保育園川の生き物採取観察
 - (5)日橋川・川の祭典
 - (6)野鳥の会へ福島県準絶滅危惧種「バン」のDVD映像を寄贈

1. 住民参加による水質調査支援事業

8月21日、阿賀川宮古橋下にて阿賀川河川事務所主催の水質調査が行われました。会津めだか塾生13名と阿賀川・川の達人の会10名他で水質調査を実施しました。水の透視度測定、各種パックテストによる水質測定、指標生物を採取分類による水質の判定などを行いました。結果として、この場所は「きれいな水」であることが分かりました。参加者のみなさんお疲れ様でした。いつまでもこのままの状態が続くと良いですね。



2. アドベンチャークラブ支援事業

「阿賀川・川の達人の会」主催のアドベンチャークラブでは8月7（土）、8日（日）会津若松市水辺の楽校に於いてキャンプをしました。7日には「全国一斉1万人川流れ体験」に参加して、楽しく川流れを楽しみました。夕食にはペットボトルで流れを作り流しそうめんを体験、また焼き肉のごちそうも味わい、暗くなってからは花火を楽しみました。川流れとキャンプはみんな楽しかったようです。写真の笑顔を見てください。



3. イトヨ保全活動支援事業

8月21日、「藻が異常発生したイトヨの棲息地の白山沼」と新聞報道があったので確認に行ってきた。何度か現地を見ていて余り綺麗ではないことは分かっていたのですが、その後に行った時、沼の西側で清掃をしている現場（写真右端）を見ました。沼に入って水草等を除去している所でした。夏場の繁殖時期に沼に入って巣を荒らす危険があると思うのですが、どうだったのでしょうか。

水が少なく底がよく見えてイトヨの集団が泳いでいるのを見ることが出来ました。3つの集団があり、ざっと見ですが合わせて3000匹以上はいるようです。

約50年前の北会津は記憶の中では随所に湧水池があったのを覚えています。小川の水もきれいでのどが渴いたときなど飲んだ覚えがあります。そんなところで魚捕りをしていて「ヒル」にかまれ血が出たこともありました。「ヒル」というと、今は「きたない水」にすむ生物と分類されています。何か不思議な思いがします。



4. 会津めだか塾支援事業

阿賀川・川の達人の会主催「会津めだか塾」が阿賀川河川事務所の支援を頂き7月21日に開講式が会津若松市の「ブライダルルネッサンス中の島」に於いて開催されました。今回で13回目の開講となります。現在までに約230名が巣立っていろいろな分野で活動をしています。開講式では、馬場和廣「阿賀川・川の達人の会」会長の挨拶、貴家尚哉・阿賀川河川事務所長の挨拶、13名の塾生の紹介がありました。その後、喜多方建設事務所の長谷川潔所長の「福島県内の水環境活動について」の基調講演が、県内各地各団体の活動状況の説明が有りました。約2ヶ月で10回にわたる講義がありました。



【開講式の様子】

7月28日の第2回講座は、阿賀川河川事務所の会議室をお借りして「川に学ぶ体験活動の理念」「川に学ぶ体験活動の指導法」を学びました。



【講義と演習の様子】

8月7日の第5回講座は阿賀川の「会津若松市水辺の楽校」に於いて「野外救急法」「安全対策・安全管理」を学びました。救急法の講師は、会津めだか塾の卒業生で、無償ボランティアで協力して頂きました。



【救急法と安全対策の演習風景】

9月1日、会津若松市の「ブライダルルネッサンス中の島」に於いて、閉講式が行われました。今回13名の方が入塾されましたが仕事との両立が難しいなどの理由により11名の卒業となりました。阿賀川河川事務所・貴家尚哉長から「阿賀川リバーエキスパート」の認定書が、阿賀川・川の達人の会馬場会長より「川の指導者養成講座」の修了書が授与されました。今後の活躍を期待したいと思います。来年度も開講予定ですので入塾ご希望の方は「阿賀川・川の達人の会」事務局（0242-28-1299）までご連絡ください。



【閉講式の様子】

5. 各団体の活動紹介及び阿賀川流域での出来事紹介

第4回マス釣り大会

9月26日会津若松市北会津町三本松の「会津非出資漁業協同組合」事務所内に於いて「第4回の親子マス釣り大会」が開催されました。当日は快晴で絶好の釣り日和、マス釣りやフリーマーケット、焼き鳥、わた飴、野菜の即売、アユ、マスの塩焼き、木戸川で捕れたサケの即売、子供達はザリガニ遊びなど盛りだくさんの秋の味覚などが有り、多くの家族連れでにぎわっていました。



秋なのに桜咲く

湯川と古川の合流地点を散歩していたら、桜の木になにやら白い物を見つけ近寄って良く観ると桜の花が咲いていました。何か良いことがありそうな予感がしました。珍しいのでデジカメで「カシャ!」、右手にカメラ、左手で犬のリードを持ち、犬は動くし大変でした。時期はずれですが、桜の花は良いですね。



湯川灯籠流し

8月16日、会津若松市湯川の湯川橋から烏橋間に於いて、毎年恒例の「灯籠流し」が行われました。湯川橋近くの弘長寺前の川原には多くの灯籠（写真左）が準備され、一つずつ丁寧に湯川の流れにのせられ下流へと向かいました。ここの灯籠流しの由来を調べてみました。会津若松市のホームページによると、近くにある石塚観音堂に關係しているらしく、このお堂、以前はもっと東寄りで湯川に面していて、その岸辺から石塚の人々とその他有志の人が自分で鴨形に張子で作った灯籠を流していた。これは蒲生忠郷公の母堂がここの観音様を厚く信仰して建立され、毎月16日には城府から参詣に來られて、この日に流燈されたのが始まりとされ、この風習は戦後までつづいた。（出典：会津若松市HP）

このような行事が少なくなってきましたが、いつまでも続いてほしいと思います。



日橋川・川の祭典

7月25日（土）喜多方市塩川町の日橋川河川敷周辺に於いて、川の祭典が開催されました。「阿賀川・川の達人の会」ではニジマスつかみのスタッフ、カヌー体験、カヌーでの川下りデモンストレーションを行いました。夜には心配していた雨も降らず風もなく綺麗な花火を見ることが出来ました。



田付川で東町のびやか保育園児、川の生物採取観察

7月30日、「阿賀川・川の達人の会」は、喜多方市の東町のびやか保育園の年長児を対象に、田付川幸橋下流に於いて、水生生物の採取、観察を行いました。ザリガニ、ドジョウ、トンボのヤゴ、トビケラ等々沢山の水生生物を見つける事が出来ました。一番人気があったのはアメリカザリガニでした。怖くて水生生物をつかめなかった子も勇気を出してつかめるようになりました。お手伝いをした「阿賀川・川の達人の会」の会員は、このような園児の成長を間近で見られてやりがいを感じていました。



野鳥の会へDVD寄贈

白山沼にイトヨを観察に行った時、「準絶滅危惧（福島県）」に指定されている「バン」の育児風景を撮影することに成功しましたので、編集して「野鳥の会 会津支部」へDVD寄贈しました。

